



評価のポイント

CL-Ⅱ.ニーズを捉える力（精神科）

[12-2] 事例で学ぶ統合失調症の看護～多飲症・水中毒～

1. 事例の A 氏に対して、どのような看護介入が考えられるでしょうか。具体的な看護介入方法をいくつか考えてみましょう。

体重測定、申告飲水、トークンエコノミー法、ストレスを減らす環境調整、水に意識が向かない介入など、紹介した方法を記載できている。

2. その看護の介入を行う際の注意点も考えてみましょう。

可能であれば、A 氏の事例に沿った独自性を取り入れている。

- 医療保護入院の中でどのように外出の工夫をするか。
- 制限意識の強いスタッフがいる中で、どのように共通認識を広げるか。
- 高齢の家族の面会についての対策。
- 本人の好きな音楽をどう取り入れるか。

コミュニケーション不良の A 氏とのコミュニケーションの取り方の工夫 など